

# 総心

総合科学部の  
創設から45年の歴史を刻んだ広報  
誌、『飛翔』。総合科学科(IAS)と国  
際共創学科(IGS)がともに作り上げ  
た今号では「さらなる飛躍」をキャッ  
チコピーとして今までと一味違う『飛  
翔』をお届けします。

# H

isho is the  
public relation magazine of School  
of Integrated Arts and Sciences,  
which has a history of 45 years.  
This issue which is made by stu-  
dents from Department of Inte-  
grated Arts and Sciences and Inte-  
grated Global Studies has a theme  
of “The Further Leap”, and has a  
brand new touch compared to  
before.

はじめに 2  
To Begin With

教員紹介 4  
Professors' Introduction

輝いている人 22  
The Bright Student

OB・OG 紹介 26  
OB・OG Introduction

OB・OG セミナー 30  
OB・OG Seminar

総科生 101 31  
IAS, IGS, & Senpai

編集後記 37  
Editor's Comments

おわりに 41  
To End With



# 目次

C O N T E N T S

# はじめに

柴田美紀先生



# 人生は思い込みからの脱却

座右の銘は、「絶対って言うな、絶対」と「努力は報われると思うな」。今は亡き母に事あるごとに言われていたことばです。

前者は、英語で言う Never say never! 私は小学生の時、カケッコをすればいつもドベ(名古屋弁でビリの意)だったし、走るのが大っ嫌いだったので、人生の中でわざわざ自分から好き好んで「走る」ことは絶対にないと信じていました。ところが、今ではハーフマラソンを走ります(フルマラソンは、まだ Never の域を出ていない!)。学校の勉強はあまり出来なかったし、好きでもなかった私が博士課程に進学しようなどとは夢にも思っていませんでした。ところが、2000年に博士号を取りました。過去の私にはどちらも「絶対あり得ないこと」でした。

後者の「努力は報われると思うな」を言うと大半の人が「えっ?」というリアクションをします。普通、「努力は必ず報われる!」と言うことが多いからでしょう。広島大学の前は、沖縄にある琉球大学で教えていました。通勤路に「努力は必ず報われる」という横断幕が掲げられているところがありました。横を通りながら、それを見る度に、「これ、問題だよな〜。努力は報われないことの方が多いんだけど。だから、報われたらラッキーぐらいに言ってあげた方が親切だよ」とつぶやいていました。努力が報われたら、この世の中、いじめや喧嘩はないでしょう。みんながそれぞれの目的を達成して、ハッピーなのですから。

「努力をしても無駄」と言っているのではありません。努力は続けてください。でも、なかなか期待する結果が出ないのに、いつまで続けたらいいのか、辞めるタイミングはいつなのか。実は、努力の成果はどこかの時点で違う形で報われているのです。私は努力したけれど、第一志望の大学に落ち、不本意ながら地元の私立大学へ行きました。しかし、ここで言語学の面白さに出会いました。もし、努力

が報われて、第一志望の大学へ行っていたら、言語学に出会わなかったかもしれません。

そして、大学を卒業したらアメリカの大学院へ行きたいと思っていた時、ゼミの先生から「教え子がアメリカの大学院で勉強したい日本人を探しているんだけど、柴田さん、興味ある?」と言われました。こうして、オハイオ大学の大学院に入学願書を提出することになったのですが、必死で勉強して受験した TOEFL の点数が応募要件に3点足りませんでした。ここでも、また努力が報われなかったわけです。しかし、Never say never で一念発起し、必要書類を送る際、学部長に手紙を書いて、それを同封しました。その文面は「TOEFL の点数が少しだけ足りないけれど、試しに一学期間だけ入学を許可してください。そして、成績が悪くてダメなら退学にしてもらっていいから」。すると、何と入学許可が来ました。今でも、その時の学部長にはとても感謝しています。ただし、最初の学期は、お試し期間だったので、大学附属の ESL (English as a second language) コースの履修が条件でした。

これまでの人生、一生懸命やると思わぬ結果がついてくるが多かった気がします。それに、「絶対無理だよな」と思っていたことが、案外思い込みだったと気づくことも多々ありました。こうした経験を通して強く実感するのは、人生が偶然の重なりであり、発想の転換で全然違うものになることです。特に人との縁は不思議です。連鎖反応のように、ひとりに出会うと、その人を通してまた違う人に出会うことができる。こうして、どんどん人脈が広がっています。ですから、人との出会いを大切に、思い込みからの「絶対無理」を色々な角度から検証することで、大学時代がこれからの可能性を広げる、人生の貴重な 1 ページになるはずですよ。